

雪に挑む 190 万都市—北海道札幌市

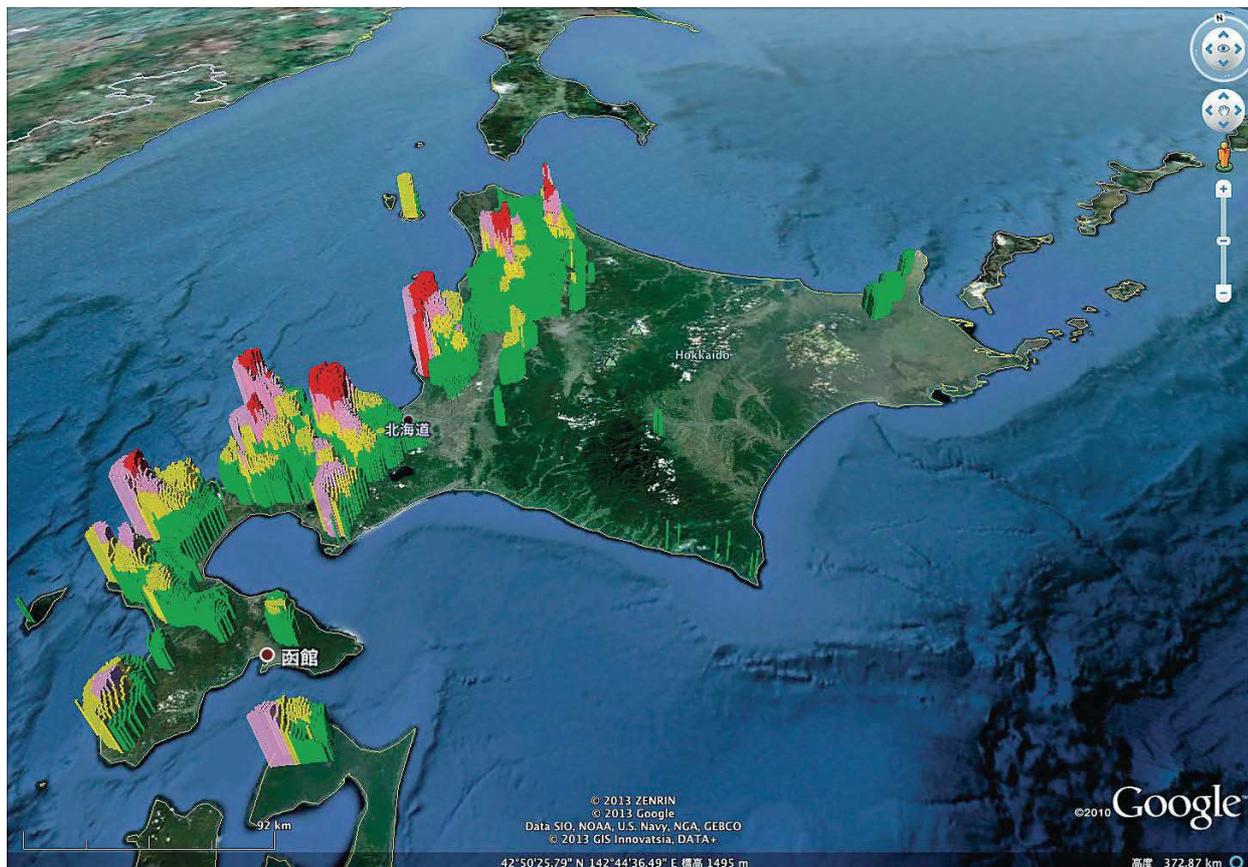


図1 最大積雪量(緑:100 cm 台, 黄:200 cm 台, 白:300 cm 台, 赤:400 cm 以上)
国土数値情報「平年値メッシュ」より作成 <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

国土交通省が公開している「国土数値情報」から「平年値メッシュ」を取り出してみた(図1)。支笏湖から千歳空港付近にかけての分水嶺の標高は、わずか20mほどしかないが、冬の気候も、この付近で「日本海側」と「太平洋側」にはっきりと分かれることが確認できる。

日本海側に位置する札幌市の人口は約193万人(2012年12月現在)である。北海道の人口は減少しているが、札幌市の人口は増加の一途をたどっている。12月の積雪の平年値は130cmだが、2012年の積雪は12月25日時点で既に199cmに達している。

郊外の宅地化に伴い、雪捨て場として使う空き地の確保が年々困難になる一方、長引く不況と公共事業の縮小で、除雪・排雪作業の担い手だった建設業者の廃業が相次いでいる。除雪後に排雪されず、道路の両脇にうずたかく積み上がった雪の山や、ロードヒーティング面と雪面との段差などは、市民の安全を脅かす身近な脅威である(写真1・2)。

市では、2009年に「冬のみちづくりプラン」を策定した。これまで、行政のサービスとして大規模かつ広範囲に行ってきた除雪・運搬を幹線道路や通学路等に重点化し、生活道路等、身近な地域の除雪を住民の共助に委ねていく試みである(図3)。

除雪車や排雪場、ボランティアの最適配置や協働のためのルール作りなど、この地域ならではの問題意識を踏まえた教育事例が蓄積され、発信されていくことを期待したい。

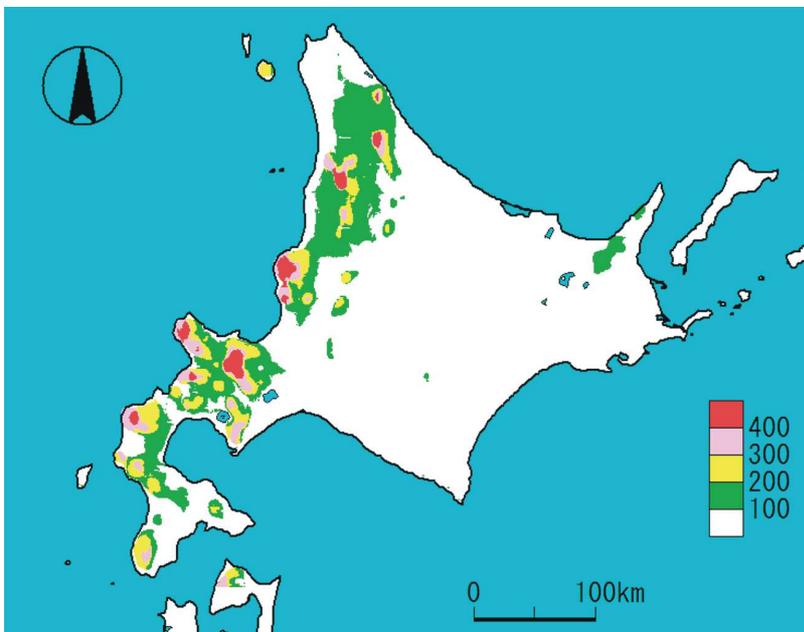


図2 最大積雪量 平面図
(国土数値情報から「MANDARA」で作図)



写真①・② 歩道脇に積み上げられた雪と除排雪作業
(2012年12月 札幌市内にて)

札幌市冬のみちづくりプランがめざすもの

目標1 冬の市民生活ルールの確立

(1) 冬の市民生活ルールの順守・マナーの向上に向けた意識啓発
(2) 地域との情報共有と連携の推進

冬の市民生活ルール・マナーとして「守ること」「協力すること」「取り組むこと」を広く周知します。
道路への雪出しや路上駐車防止を啓発する合同パトロールの実施を拡大します。

守ること
敷地内から道路へ雪出しをしない。
どうしてなの? 敷地内の雪を道路に出すと、路面が凸凹になるだけでなく、道幅を狭めるなど、事故や交通渋滞を招くおそれがあります。(道路法第43条や道路交通法第76条等で禁止されています。)

守ること
路上駐車をしない。
どうしてなの? 道路に車が駐車してあると、除雪車が通れなくなるなど、作業の大きな支障となり、不均一な除雪になる場合があります。(自動車の保管場所の確保等に関する法律第11条等で禁止されています。)

協力すること
玄関・車庫前などの間口の雪処理は個人で行う。
どうしてなの? 効率よく道路の除雪を行うため、間口の雪処理を行うことは市民の役割です。

目標3 除排雪体制の確保

(1) 除排雪体制の維持・安定化
(2) 雪たい積場の確保

発注形態などの見直しや除雪機械の安定的な確保策など、除排雪体制の維持・安定化に向けた取り組みを推進します。

どうしてなの? 公共事業の縮減や長引く経済不況などにより、除排雪の主な担い手である建設業の経営体力が急激に悪化し、倒産や廃業、雪対策事業からの撤退が増えています。また、今後ダンプトラックや除雪機械の確保が困難となることが懸念されています。

年々確保が難しくなっている雪たい積場
老朽化が懸念される除雪機械

目標4 メリハリをつけた冬期道路の管理

(1) 幹線道路の除排雪の推進
(2) 生活道路の除排雪の推進
(3) 歩道の除雪の推進
(4) ロードヒーティングに替わる路面管理手法の推進

都市機能確保の観点から利用実態に応じたメリハリのある除排雪や路面管理を推進します。
どうしてなの? 幹線道路は、交差点やバス路線の除排雪を強化しているものの、一部の路線では依然として渋滞が発生しています。

交通の安全が確保できる箇所は、ロードヒーティングの停止を推進します。
どうしてなの? スタッドレスタイヤや凍結防止剤の性能が向上していることを受け、ロードヒーティングに替わる路面管理を行っており、市民からも事業の推進や路面の安全性に対して一定の理解を得ています。

道路脇の雪山により道路が狭くなったバス路線

図3 札幌市「冬のみちづくりプラン」概念図(札幌市建設局雪対策室計画課)

<http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/plan/index.html>

KML 図① <http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/101/fig1.kml>